

運用報告書（全体版）

第11期

（決算日：2016年10月27日）

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式	
信託期間とクローズド期間	原則として無期限（クローズド期間はありません）	
運用方針	ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。	
主要運用対象	当ファンド（ベビーフンド）	ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資することもあります。
	マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式のうちソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式を主な投資対象とします。
組入制限	当ファンド（ベビーフンド）	株式への実質投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎決算時に、基準価額水準及び市場動向等を勘案して分配を行います。ただし分配対象額が少額の場合等、委託者の判断により収益分配を行わないこともあります。	

ソフトバンク& SBIグループ 株式ファンド

追加型投信／国内／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド」は、2016年10月27日に第11期決算を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

〒106-6017 東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiam.co.jp/>

 **SBI** Asset Management

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			株 組入比	式 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落			
	円		円		%	%	百万円
7期(2012年10月29日)	4,480		0		8.4	95.8	804
8期(2013年10月28日)	13,429		0		199.8	94.9	2,259
9期(2014年10月27日)	11,205		0		△ 16.6	95.7	1,484
10期(2015年10月27日)	12,268		0		9.5	95.8	1,176
11期(2016年10月27日)	10,942		0		△ 10.8	98.2	1,014

(注1) 当ファンドは、ソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式(以下、「ソフトバンク&SBIグループ株式」といいます。)に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組入比	式 率
		騰 落	率		
(期首) 2015年10月27日	円		%		%
		12,268	—		95.8
10月末		12,410	1.2		96.0
11月末		12,315	0.4		96.9
12月末		11,627	△ 5.2		96.2
2016年1月末		10,477	△14.6		97.2
2月末		10,139	△17.4		97.9
3月末		10,884	△11.3		97.3
4月末		11,256	△ 8.2		95.8
5月末		11,505	△ 6.2		96.0
6月末		10,420	△15.1		97.5
7月末		10,360	△15.6		98.0
8月末		11,051	△ 9.9		97.3
9月末		10,709	△12.7		97.5
(期末) 2016年10月27日		10,942	△10.8		98.2

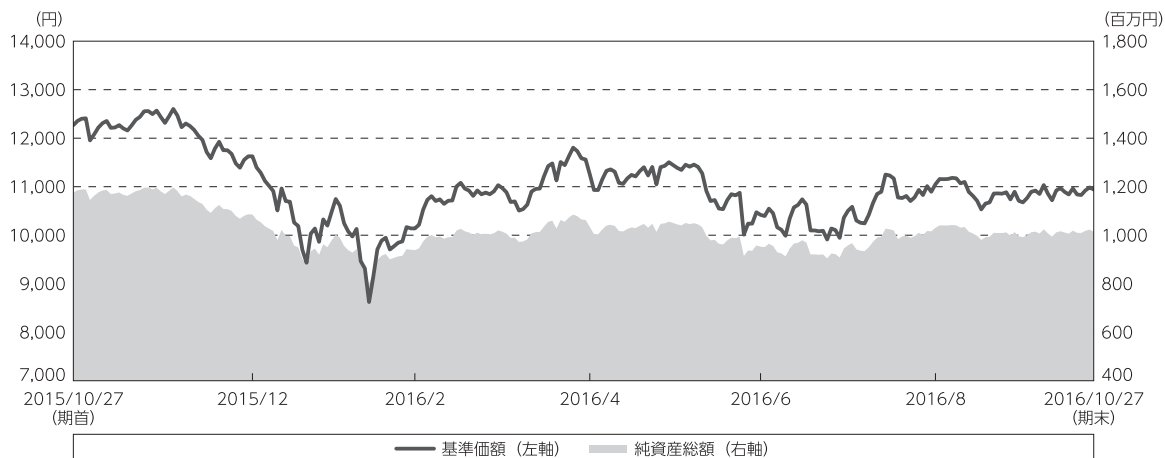
(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2015年10月28日から2016年10月27日まで）

○基準価額等の推移



(注1) 当ファンドは、ソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式（以下、「ソフトバンク&SBIグループ株式」といいます。）に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

マザーファンドの組入銘柄であるソフトバンクテクノロジー、ベクター等の株価の上昇が基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

マザーファンドの組入銘柄であり、主要投資先であるソフトバンクグループ、ヤフーの株価の下落が主要な基準価額の下落要因となりました。

○投資環境

期首から11月までは、環太平洋経済連携協定（TPP）交渉の大筋合意や米利上げ観測の後退による米株高、欧州中央銀行（ECB）の追加緩和観測を背景に上昇しました。その後はECBの追加緩和策の内容や米国の利上げの決定が材料視され、年明け以降は中国の景気減速懸念に端を発した世界的な株安、原油安、日銀によるマイナス金利導入を背景に下落しました。3月から9月は、概ねボックス圏での値動きとなりました。米国経済低迷への懸念が和らいだことや、ECBの追加金融緩和による投資家心理の改善をきっかけに、欧米の株高が波及しましたが、英国の欧州連合（EU）離脱への懸念が強まり株安が進行するなど一進一退の展開となりました。10月からは、円安進行や原油高を背景に上昇基調となり、期末を迎えました。

○当ファンドのポートフォリオ

<当ファンド>

ソフトバンク & SBIグループ株式・マザーファンドを高位に組入れて運用を行いました。

<ソフトバンク & SBIグループ株式・マザーファンド>

ソフトバンク、SBIホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資することを運用目的としています。組入比率は、目論見書に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例（1銘柄の組入比率の上限は概ね50%※）して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行いました。

個別銘柄別では、ソフトバンクテクノロジーやベクターがプラス寄与した一方、ヤフーやSBIホールディングスがマイナス寄与となりました。当ファンドの主要投資先である、ソフトバンクグループは、財務状況への懸念から当期後半まで軟調な値動きとなりました。傘下のSprintにおいて、注力しているコスト削減効果、ネットワーク品質の改善、解約率の低下と加入者純増数の拡大を背景に業績改善が確認されたほか、自己株式の消却もありましたが、前期比では下落となりました。

当期の組入銘柄の異動は以下のとおりです。ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社は、ソフトバンクグループより株式売却の打診を受け、自社株式の公開買付を行い、ソフトバンクグループの持分法適用関連会社から外れたことから全株売却しました。アキュセラ・インク（Acucela Inc.）は、SBIホールディングスの持分法適用関連会社になったことから新規に組入れました。

※ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社がソフトバンクグループより株式売却の打診を受け、自社株式の公開買付を行いました。当該公開買付により投資対象から外れたため、1銘柄の組入比率の上限は概ね50%となります。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、ソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式（以下、「ソフトバンク & SBIグループ株式」といいます。）に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用しておりません。

○分配金

当期の収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、見送ることといたしました。

なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第11期
	2015年10月28日～ 2016年10月27日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,159

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

<当ファンド>

引き続き当ファンドの基本方針に基づき、ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンドを通じて、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資します。

<ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド>

引き続きソフトバンクグループ、SBIホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資します。組入比率は、目論見書に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例(1銘柄の組入比率の上限は概ね50%)して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2015年10月28日～2016年10月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 101	% 0.907	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(48)	(0.432)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(48)	(0.432)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.043)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	12	0.110	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(12)	(0.110)	
(c) そ の 他 費 用	4	0.032	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(3)	(0.031)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	117	1.049	
期中の平均基準価額は、11,096円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 売買委託手数料及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2015年10月28日～2016年10月27日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド	千口 56,038	千円 67,000	千口 88,784	千円 108,000

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2015年10月28日～2016年10月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額		843,723千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額		999,798千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)		0.84

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2015年10月28日～2016年10月27日)

利害関係人との取引状況

該当事項はありません。

利害関係人の発行する有価証券等

<ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド>

該当事項はありません。

<ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド>

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 末 保 有 額
	百万円	百万円	百万円
株式	13	61	49

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはソルクシーズ、モーニングスター、SBIホールディングスです。

○組入資産の明細

(2016年10月27日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド	千口 878,260	千口 845,513	千円 1,012,587

(注) 単位未満は切捨て。

マザーファンドにおける組入資産の明細につきましては、後述のマザーファンドの「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2016年10月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド	千円 1,012,587	% 98.8
コール・ローン等、その他	12,420	1.2
投資信託財産総額	1,025,007	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(6,339千円)の投資信託財産総額(1,024,339千円)に対する比率は0.6%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年10月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,025,007,339
コール・ローン等	12,420,028
ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド(評価額)	1,012,587,311
(B) 負債	10,745,223
未払解約金	6,066,791
未払信託報酬	4,516,341
未払利息	34
その他未払費用	162,057
(C) 純資産総額(A-B)	1,014,262,116
元本	926,915,450
次期繰越損益金	87,346,666
(D) 受益権総口数	926,915,450口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,942円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>
(貸借対照表関係)

期首元本額	958,798,845円
期中追加設定元本額	85,626,018円
期中一部解約元本額	117,509,413円

○損益の状況 (2015年10月28日～2016年10月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 2,313
受取利息	250
支払利息	△ 2,563
(B) 有価証券売買損益	△102,153,128
売買益	12,570,255
売買損	△114,723,383
(C) 信託報酬等	△ 9,572,198
(D) 当期損益金(A+B+C)	△111,727,639
(E) 前期繰越損益金	△ 10,572,690
(F) 追加信託差損益金	209,646,995
(配当等相当額)	(116,371,408)
(売買損益相当額)	(93,275,587)
(G) 計(D+E+F)	87,346,666
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	87,346,666
追加信託差損益金	209,646,995
(配当等相当額)	(116,432,321)
(売買損益相当額)	(93,214,674)
分配準備積立金	83,751,562
繰越損益金	△206,051,891

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(5,101,576円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(116,432,321円)および分配準備積立金(78,649,986円)より分配対象収益は200,183,883円(10,000口当たり2,159円)ですが、当期に分配した金額はありません。

第11期 運用報告書

(決算日 2016年10月27日)

ソフトバンク & S B I グループ株式・マザーファンド

受益者のみなさまへ

ソフトバンク & S B I グループ株式・マザーファンドの第11期（2015年10月28日から2016年10月27日まで）の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	この投資信託は、わが国金融商品取引所上場株式のうちソフトバンクグループ株式会社、S B I ホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式（以下、「ソフトバンク & S B I グループ株式」といいます。）を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。
主 要 運 用 対 象	わが国の金融商品取引所上場株式のうちソフトバンクグループ株式会社、S B I ホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式を主な投資対象とします。
組 入 制 限	株式の投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資は、行いません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率		
7期(2012年10月29日)	円		%	%	百万円
	4,741		9.4	96.0	802
8期(2013年10月28日)	14,357		202.8	95.4	2,247
9期(2014年10月27日)	12,048		△ 16.1	96.0	1,479
10期(2015年10月27日)	13,309		10.5	96.4	1,168
11期(2016年10月27日)	11,976		△ 10.0	98.4	1,012

(注1) 当ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用しておりません。

(注2) 株式組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首)	円		%	%
2015年10月27日	13,309		—	96.4
10月末	13,465		1.2	96.6
11月末	13,372		0.5	97.5
12月末	12,631		△ 5.1	96.8
2016年1月末	11,384		△14.5	97.8
2月末	11,025		△17.2	98.1
3月末	11,848		△11.0	97.5
4月末	12,262		△ 7.9	96.1
5月末	12,544		△ 5.7	96.1
6月末	11,368		△14.6	97.7
7月末	11,311		△15.0	98.2
8月末	12,077		△ 9.3	97.5
9月末	11,712		△12.0	97.7
(期 末)				
2016年10月27日	11,976		△10.0	98.4

(注1) 騰落率は期首比。

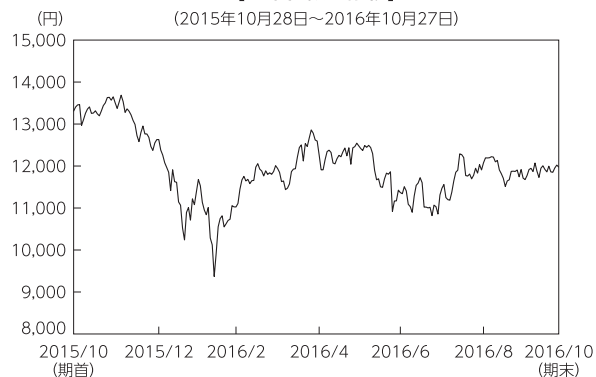
(注2) 当ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用しておりません。

(注3) 株式組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2015年10月28日から2016年10月27日まで）

○運用経過

【基準価額の推移】



当マザーファンドの基準価額は、期首13,309円から始まったあと、期末には11,976円となりました。期を通じて騰落率は△10.0%の下落となりました。

	期首	期中高値	期中安値	期末
日付	2015/10/27	2015/12/2	2016/2/12	2016/10/27
基準価額 (円)	13,309	13,687	9,369	11,976

【組入上位10銘柄】

(2016年10月27日現在)

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	ソフトバンクグループ	情報・通信業	円	日本	49.8%
2	ヤフー	情報・通信業	円	日本	37.5
3	SBIホールディングス	証券、商品先物取引業	円	日本	4.4
4	アスクル	小売業	円	日本	3.9
5	ソフトバンク・テクノロジー	情報・通信業	円	日本	0.6
6	アキュセラ	医薬品	円	日本	0.6
7	モーニングスター	サービス業	円	日本	0.4
8	ブックオフコーポレーション	小売業	円	日本	0.3
9	アイティメディア	サービス業	円	日本	0.2
10	パリュールコマース	サービス業	円	日本	0.2
	組入銘柄数		14銘柄		

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

○当ファンドのポートフォリオ

ソフトバンク、SBIホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資することを運用目的としています。組入比率は、目論見書に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例（1銘柄の組入比率の上限は概ね50%※）して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行いました。

個別銘柄別では、ソフトバンクテクノロジーやベクターがプラス寄与した一方、ヤフーやSBIホールディングスがマイナス寄与となりました。当ファンドの主要投資先である、ソフトバンクグループは、財務状況への懸念から当期後半まで軟調な値動きとなりました。傘下のSprintにおいて、注力しているコスト削減効果、ネットワーク品質の改善、解約率の低下と加入者純増数の拡大を背景に業績改善が確認されたほか、自己株式の消却もありましたが、前期比では下落となりました。

当期の組入銘柄の異動は以下のとおりです。ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社は、ソフトバンクグループより株式売却の打診を受け、自社株式の公開買付を行い、ソフトバンクグループの持分法適用関連会社から外れたことから全株売却しました。アキュセラ・インク（Acucela Inc.）は、SBIホールディングスの持分法適用関連会社になったことから新規に組入れました。

※ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社がソフトバンクグループより株式売却の打診を受け、自社株式の公開買付を行いました。当該公開買付により投資対象から外れたため、1銘柄の組入比率の上限は概ね50%となります。

○今後の運用方針

引き続きソフトバンクグループ、SBIホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資します。組入比率は、目論見書に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例（1銘柄の組入比率の上限は概ね50%）して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2015年10月28日～2016年10月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 13 (13)	% 0.110 (0.110)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	13	0.110	
期中の平均基準価額は、12,083円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2015年10月28日～2016年10月27日)

株式

国 内	上 場	買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上 場	千株 437 (4)	千円 409,697 (-)	千株 685	千円 422,152
外 国	ユーロエン	百株 63	千ユーロエン 11,628	百株 2	千ユーロエン 245

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2015年10月28日～2016年10月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	843,723千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	999,798千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.84

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2015年10月28日～2016年10月27日)

利害関係人との取引状況

該当事項はありません。

利害関係人の発行する有価証券等

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 末 保 有 額
	百万円	百万円	百万円
株式	13	61	49

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはソルクシーズ、モーニングスター、SBIホールディングスです。

○組入資産の明細

(2016年10月27日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円	
情報・通信業 (90.1%)				
イーブックイニシアティブジャパン	—	0.9	817	
ガンホー・オンライン・エンターテイメント	361.5	—	—	
ソルクシーズ	4.6	2.2	1,199	
ヤフー	746	925.7	379,537	
ソフトバンク・テクノロジー	3.6	1.7	6,273	
ソフトバンクグループ	56.6	76.1	503,934	
小売業 (4.5%)				
ベクター	4.8	2.3	1,674	
アスクル	18.8	9	39,645	
ブックオフコーポレーション	7.7	3.7	3,026	
証券、商品先物取引業 (4.5%)				
SBIホールディングス	76.8	36.5	44,384	
サービス業 (0.9%)				
アイティメディア	2.2	3.3	2,498	
バリューコマース	11.8	5.6	1,971	
モーニングスター	28.7	13.6	4,066	
サイジニア	0.7	0.3	742	
合 計	株 数 ・ 金 額	1,323	1,080	989,768
	銘柄 数 < 比 率 >	13	13	< 97.7% >

(注1) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(注4) —印は組入れなし。

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
	百株	百株	千ユーロエン	千円	
(ユーロエン)					
ACUCELA INC	—	61	6,234	6,234	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
合 計	株 数 ・ 金 額	—	6,234	6,234	
	銘柄 数 < 比 率 >	—	1	—	< 0.6% >

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

(注4) —印は組入れなし。

*ACUCELA INCは、わが国の金融商品取引所上場株式のうちSBIホールディングス株式会社のグループ関連企業の株式であるため、投資を行っております。

○投資信託財産の構成

(2016年10月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 996,003	% 97.2
コール・ローン等、その他	28,336	2.8
投資信託財産総額	1,024,339	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建て純資産(6,339千円)の投資信託財産総額(1,024,339千円)に対する比率は0.6%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年10月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,024,339,853
コール・ローン等	18,194,663
株式(評価額)	996,003,100
未収入金	8,119,990
未収配当金	2,022,100
(B) 負債	11,774,341
未払金	11,774,106
未払利息	49
その他未払費用	186
(C) 純資産総額(A-B)	1,012,565,512
元本	845,513,787
次期繰越損益金	167,051,725
(D) 受益権総口数	845,513,787口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,976円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	878,260,377円
期中追加設定元本額	56,038,175円
期中一部解約元本額	88,784,765円
期末における元本の内訳	
ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド	845,513,787円

○損益の状況 (2015年10月28日～2016年10月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	14,708,978
受取配当金	14,719,222
受取利息	723
その他収益金	48
支払利息	△ 11,015
(B) 有価証券売買損益	△129,992,742
売買益	35,943,679
売買損	△165,936,421
(C) その他費用	△ 1,400
(D) 当期損益金(A+B+C)	△115,285,164
(E) 前期繰越損益金	290,590,299
(F) 追加信託差損益金	10,961,825
(G) 解約差損益金	△ 19,215,235
(H) 計(D+E+F+G)	167,051,725
次期繰越損益金(H)	167,051,725

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。